



2025 年度
10月号

しんじゅくいるまこども園
病児病後児保育室ひまわり

ひまわりだより

日が暮れるのが早くなり、虫の鳴き声に秋の訪れを感じますね。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、上着で体温調節をしたり、旬の食材から栄養を摂ったり、十分な睡眠とって、元気に過ごしましょう。また、RS ウイルスやインフルエンザの流行が始まっています。こまめな手洗いうがい、適切なワクチン接種で予防しましょう。

冬に向けて流行る感染症

【RS ウイルス感染症】

- ★鼻水、咳、微熱などの風邪症状からはじまり、進行すると喘鳴（ゼーゼー、ヒューヒュー）や食欲不振などがおこり、ぐったりしてきます。
- ★特効薬はなく、対症療法で治るのを待ちます。
- ★乳幼児に多く、重症化すると肺炎や細気管支炎、中耳炎を合併することも。2歳までにほぼ全ての子どもが一度は感染すると言われていますが、初感染時（特に生後6か月未満の赤ちゃん）は注意が必要です。



【インフルエンザ】

- ★高熱（38～40℃）、頭痛、倦怠感、咳、鼻汁等の風邪症状に加え、筋肉痛・関節痛、時には下痢や嘔吐など胃腸症状が出ることもあります。
- ★子どもは特に、熱性けいれんやインフルエンザ脳症に注意が必要です。
- ★治療は抗ウイルス薬を発症から48時間以内に開始することが望ましいです。
- ★感染の予防だけでなく、“重症化の予防”にもワクチン接種が有効です。

【胃腸炎（感染性胃腸炎・ウイルス性胃腸炎）】

- ★嘔吐、下痢、発熱、腹痛が主な症状です。
- ★治療は基本的に対症療法です。脱水にならないよう、経口補水液などを少しずつこまめに与えましょう。
- ★原因ウイルスはノロ・ロタ・アデノなど、様々です。ロタウイルスにはワクチンが有効です。（生後6～24週頃までに接種完了が望ましい。）
- ★原因ウイルスにはアルコールが効きにくいので、次亜塩素酸ナトリウムの消毒液を使いましょう。吐物の処理やおむつ替えの後は手洗いうがいを忘れずに！

- 脱水のサイン
- ・尿が半日以上出ない
 - ・口が渴いて唾液が少ない
 - ・目がくぼむ
 - ・皮膚の張りが悪い



当保育室の利用には、**事前登録**が必要です。事前登録や利用について、詳しくはホームページをご覧ください。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

9月の利用状況

主な疾患名 のべ30名

- ・上気道炎 ・気管支炎 ・咽頭炎 ・中耳炎
- ・手足口病 ・胃腸炎 ・RS ウイルス感染症
- ・アデノウイルス感染症 ・溶連菌感染症

お問い合わせはこちら

☎ 03-6302-1225

受付時間 7:30 ～ 18:00

